

コーディング規約

この文書ではフレームワークを利用したアプリケーションを開発する際のコーディング規約についてまとめている。

一般

文字エンコーディング

ソースファイルやテンプレートファイルを含めたテキストファイルでは、文字エンコーディングを UTF-8 とする。

EOL

ソースファイルやテンプレートファイルを含めたテキストファイルでは、行末文字を

- * DOS スタイルの CRLF 2文字、または
- * Unix スタイルの LF 1文字

とする。特に、行末文字として Mac スタイルの CR 1文字は利用しない。

Ruby および Ruby on Rails

命名規約

+ ファイル名

ファイル名を構成するアルファベットは全て小文字からなり、単語の区切りにアンダースコア ({{_}}) を用いる。

単独のクラスやモジュールを格納したファイルは、そのクラスやモジュール名をアンダースコア形式に変換したものとする。以下の規約も参考。

+ クラス名/モジュール名

クラス名は先頭を大文字にし、単語の区切りに続く文字を大文字にする。
(例)({{CamelCase}})

+ 定数名

(クラス名以外の)定数名は大文字もしくは単語を区切るアンダースコアのみからなる。
(例)({{CONSTANT_UPCASE}})

+ 変数名

変数名は小文字もしくは単語の区切るアンダースコアのみからなる。
(例)({{variable_downcase}})

+ メソッド名

メソッド名は小文字から始め、原則として動詞から始める。
(例)({{make_box}})
ただし、アクセサの場合にはこの限りでない。

インデント

インデントにタブ文字は利用しない。
空白文字によってインデントを行い、インデント幅は2とする。

文字列リテラル

ヒアドキュメントを利用してもよい。

メソッド

メソッドから戻り値を返す場合、`((return))` は省略しない。
メソッドを呼び出す場合、可能な引数を囲む括弧は省略してもよい。

コメント

コメントの書式は RDoc(Ruby Documentation System)
(`<http://www.kmc.gr.jp/~ohai/rdoc.ja.html>`)
形式に従う。

ビルド処理

ビルド処理には原則として Rake を用いる。

例外処理

各メソッドでは例外処理を行わず、エラーを示すページが必ず出力されるようにする。

多言語対応

Ruby-GetText パッケージを利用する。
翻訳対象のリテラルに対しては、メソッド `((s_()))` を利用する。
翻訳対象となるキーワードがパラメータの単複に応じて変化する場合には、
メソッド `((ns_()))` を利用する。

JavaScript

命名規則

+ ファイル名

ファイル名を構成するアルファベットは全て小文字からなり、
単語の区切りにアンダースコア `((_))` を用いる。

+ クラス名

クラス名は先頭を大文字にし、単語の区切りに続く文字を大文字にする。
(例) `((CamelCase))`

+ 変数名

変数名は先頭を小文字にし、単語の区切りに続く文字を大文字にする。
(例) `((variableUcase))`

+ メソッド名

メソッド名は小文字から始め、原則として動詞から始める。
(例) `((makeBox))`
ただし、アクセサの場合にはこの限りでない。

インデント

インデントにタブ文字は利用しない。
空白文字によってインデントを行い、インデント幅は2とする。

データベース

命名規則

+ テーブル名

テーブル名は英語の複数形とする。

+ プライマリキー

テーブルのプライマリキーの名前は ((id)) に統一する。
他のテーブルから外部キーとして参照する際には、
そのカラム名は (((テーブル名の単数系)_id)) となる。

SQL

+ 予約語

以下の単語はフレームワーク用に予約されているため、各アプリケーションでは利用しない:

- * ANSI SQL の予約語: ((ADD ALL ALTER AND ANY AS ASC BETWEEN BY CHAR CHECK CONNECT CREATE CURRENT DATE DECIMAL DEFAULT DELETE DESC DISTINCT DROP ELSE FLOAT FOR FROM GRANT GROUP HAVING IMMEDIATE IN INSERT INTEGER INTERSECT INTO IS LEVEL LIKE NOT NULL OF ON OPTION OR ORDER PRIOR PRIVILEGES PUBLIC REVOKE ROWS SELECT SESSION SET SIZE SMALLINT TABLE THEN TO UNION UNIQUE UPDATE USER VALUES VARCHAR VIEW WHENEVER WITH)))
- * Oracle の予約語: ((ACCESS ADMIN AUDIT A ABORT ACCESSED ACCOUNT ACTIVATE ADMINISTER ADMINISTRATOR ADVISE ADVISOR AFTER ALGORITHM ALIAS ALLOCATE ALLOW ANALYZE CLUSTER COLUMN COMMENT COMPRESS EXCLUSIVE EXISTS FILE IDENTIFIED INCREMENT INDEX INITIAL LOCK LONG MAXEXTENTS MINUS MLSLABEL MODE MODIFY NOAUDIT NOCOMPRESS NOWAIT NUMBER OFFLINE ONLINE PCTFREE RAW RENAME RESOURCE ROW ROWID ROWNUM SHARE START SUCCESSFUL SYNONYM SYSDATE TRIGGER UID VALIDATE VARCHAR2 WHERE)))
- * その他: ((RECORD RECORD_ID RECORD_NAME RECORD_CODE)))

文書

文書形式

フレームワークおよびアプリケーションの文書の形式は以下のいずれかとする:

- * Microsoft Office Word 形式
- * Microsoft Office Excel 形式
- * PDF 形式
- * RD 形式